

2023年度事業計画書（案）

特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク

文中、障がい者と表記すべき個所も含め、固有名詞を構成している場合も散見させるため、統一して「障害者」と表記

1 事業実施の方針

2023年度は、前年度で退職した事務局長が従事していた業務の分担と、コミュニケーション支援要員の採用を含めた新たな体制づくりが求められる。また、法人全体のマンパワーを考慮に入れ、これまで受託してきた**仙台市のバーチャル工房事業の維持が困難化したため、この事業から撤退することとした。**

これらを加味すると、これまで蓄積されてきた経験はもちろんのこと、新たな発想を生かした業務の改善も大きな課題になることが想定される。

以下、下表の実施事業について順次2023年度の事業計画を示してゆく。

2023年度せんだいアビリティネットワーク実施事業

事業名	事業内容	事業名・活動内容
1. IT 支援事業	1. IT 講習事業（宮城県） 2. IT サポート事業（1. 仙台市重コミュ 2. 宮城県） 3. パソコンボランティア養成等業務 （宮城県） 4. IT 支援関連事業	重度障害者コミュニケーション支援 センター事業 障害者 IT サポートセンター事業 収入獲得支援（依頼対応） 意思伝達装置等の機器販売
2. 福祉支援事業	1. 自助・自立のための支援事業 2. 福祉支援関連事業	事業構想協議 福祉名刺/卓上カレンダー販売
3. 各種委託事業	1. ホームページ更新委託 2. 伝の心カスタマーセンター業務委託	ホームページ更新作業委託 伝の心カスタマーセンター業務
4. 資格認証事業	1. 重度障害者 ICT 支援コーディネータの資格認証	申請に対する審査・資格認証
5. 障害福祉サービス	1. 障害者就労継続支援 B 型事業所	生産活動機会の提供 就労に必要な知識や能力の訓練
6. その他助成事業	各種助成金への応募	

1. IT 支援事業

上述した通り、2023年度以降、仙台市委託のバーチャル工房事業については事業から撤退し、重度障害者コミュニケーション支援センターと、宮城県委託のみやぎ障害者 IT サポートセンターの事業に継続して取り組んでゆく。以て、定款に定めている IT 支援事業（IT 講習、IT サポート、パソコンボランティア）として展開する。

1. 1. IT 講習事業

みやぎ障害者 IT サポートセンター

前年度同様、集合研修である障害者 IT スキルアップ講習と、集合研修に参加が困難な方向けの障害者 IT 訪問講習について、これまで通り取り組んでいく。

開催規模として、障害者 IT スキルアップ講習は概ね 1 回 3 時間程度の講習を 30 回以上とし、障害者 IT 訪問講習は 15 名に対して、1 人あたり 3 回以上（1 回 2 時間程度）を見込んでいる。

1. 2. IT サポート事業

1. 2. 1. 仙台市重度障害者コミュニケーション支援センター

昨年度末に常勤 1 名が退職したため、年度内早期に新たな人員追加を目指す。体制を整えた上で、従来より実施してきた本来事業として、仙台市内の重度障害者に対するコミュニケーション支援事業を継続してゆく。

また、本事業の管轄である仙台市障害者総合支援センターとの打ち合わせを通じ、昨年度同様に注力したい 4 つの取り組みと目標を下記の通りとする。

- ①障害児のコミュニケーション支援(相談件数や支援ニーズの「見える化」が狙い)
- ②支援機器の開発 (目標：50 件)
- ③人材育成 (目標：25 件)
- ④情報発信 (ホームページの更新)

①～④に関する詳細は次の通りである。

①障害児のコミュニケーション支援

子供へのコミュニケーション支援を展開しているアーチルの後方支援を目指す。技術的な助言、機材の紹介等、問い合わせの内容を記録に残し、相談内容を「見える化」することを狙いとする。

②支援機器の開発

現場のニーズに合わせたスイッチの加工・製作、ソフトウェアの制作といった、モノづくりに注力する。昨年度同様に 50 件の報告を目指す。

③人材育成

当事者の家族、ヘルパー、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士等を対象に、講習や勉強会の機会を積極的に設けることで地域との連携を強化し、当事者の療養環境を形成する人材のコミュニケーション支援のスキルアップを目指す。昨年度の実績に鑑み、25 件の報告を目指す。

④情報発信

ホームページを運営することで積極的な情報発信を目指す。前年度はバーチャル工房事業で管理していたサーバにホームページを設置していたが、今年度以降は事務局で管理し

ているサーバでホームページを管理運営する。これまで、バーチャル工房事業独自のセキュリティ対策により、ホームページを更新する作業者は固定されていたが、今年度からはその制限が無くなるため、よりタイムリーな情報発信が可能となる見込みである。

以上の4つの取り組みに加え、仙台市内の各区役所と総合支所が担っている、難病患者等の災害時個別計画作成の補助（担当者と当事者等の顔合わせの調整、ガイドブック等の資料の共有）と、前年度から試行した関連機関へのコミュニケーション機器の貸出しを継続し、本事業と関連性の高い行政職員並びに専門職等との連携強化を図る。

1. 2. 2. みやぎ障害者 IT サポートセンター

今年度は、前年度変更となった職員体制を維持し運営していく。業務内容では、関係支援機関との協力体制のもと、地域の要望を取り入れながら宮城県全域を対象に、訪問・電話・FAX・メール・来所対応等により、障害のある方のパソコン等のIT機器の利用支援を実施する。

1. 3. パソコンボランティア養成等業務

前年度に引き続き、宮城県障害者福祉協会の協力のもとでパソコンボランティア養成業務を実施するほか、パソコンボランティア派遣業務に取り組んでいく。

① 養成業務

県民を対象にしたパソコンボランティア養成講座を宮城県障害者福祉協会との連携により取り組んでいく。前年度同様、受講者数として5名程度を予定している。

② 派遣業務

パソコンボランティア登録者の活動を支援するための事業である派遣事業を継続する。引き続き、活動を必要としている当事者とのコーディネート。ボランティア保険への加入、活動に要する費用などの支給業務等を担っていく。派遣数については、概ね50件以上を見込んでいる。

1. 4. IT 支援関連事業

1. 4. 1. 収入獲得支援事業

収入獲得支援事業については、前年度より印刷関連、データ入力等を就労継続支援B型事業へ移行したことから、主に「キーガード製作」を中心に取り組んでゆく。

1. 4. 2. 意思伝達装置等の機器販売

前年度に引き対応地域を仙台市内に特化させ、「伝の心」や「オペレートナビ等の機器、ならびに各種スイッチインターフェース等の周辺機器販売を継続させる。今年度の売上げ目標を500万円とする。

2. 福祉支援事業

「自助自立のための支援事業」と「福祉支援関連事業」からなる福祉支援事業に次の通り取り組んでゆく。

2. 1. 自助自立のための支援事業

これについてはこれまで協議のみであったが、新たな法人体制を考慮に入れた支援事業として何が実現可能となるか、将来計画まで落とし込むことを目標とする。

2. 2. 福祉支援関連事業

福祉支援関連事業では、引き続き福祉名刺・卓上カレンダーの障害者作品の販売を継続するとともに、販路拡大を図り、100 案件の受注を目指す。

3. 各種委託事業

各種委託事業として下記を実施する。

3. 1. ホームページ更新委託

就労継続支援B型事業で取り組む作業をサポートする立場から、ホームページ制作や更新作業に関する委託業務を前年度に引き続き行ってゆく。

3. 2. 「伝の心」カスタマーセンター業務委託

前年度末に委託元であるパシフィックサプライ(株)との再契約を済ませたことから、法人の新たな責任体制を機能させ、委託元との関係強化を図る。従来から受託している業務として、電話相談への対応ならびに意思伝達装置のレンタル事業の検品・整備を継続する。

4. 資格認証事業

新3級に対応し、申請者に対し資格認証を実施する。今年度は5名程度を見込んでいる。

5. 障害福祉サービス

障害者総合福祉法に基づく就労継続支援B型事業所「せんだい庵」（1日利用定員20名）を引き続き運営していく。

利用者の知識・技能を高める訓練に加え、就職を見据えたプログラム、各リモートツールを用いた在宅ワークの訓練プログラム提供に力を入れていく。また、情報収集や利用者の就労適性の評価、他機関との連携を行い、利用者の就労へのステップアップに繋げていく。

さらなる利用者の獲得にあたっては、事業所の長所と短所を再確認し、周知先の新規開拓や周知方法の見直しを図り、周知の機会を増やしていく。

さらに、工賃の発生する作業として、前年度から継続する請負業務を提供しながら、現在の職員が対応している部分を利用者に割り振ることができるように体制を整え、加算を得るために必要な平均月額工賃 10,000 円の到達を目指す。

新型コロナウィルスへの対応としては、情勢をみながら福祉施設としての在り方を考え、

利用者の安全と健康を第一とし感染防止に努める。

6. その他 助成事業等

現在行っている各種事業を考慮に入れ、それぞれの事業に資する機器・備品等の購入を図るため、各種助成金への応募を行い、実現を目指す。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
1. IT支援事業						
1. IT講習事業	(ITサポートセンター) 集合講座 訪問講座	4/1-3/31 (別途、日程計画による)	宮城県域	2人	障害者 延べ75人程度 20人程度	3,100
2. ITサポート事業	・ITサポート (重複センター) (ITサポートセンター)	4/1-3/31 (通年)	仙台市内	5人	重度障害者 80人程度	3,652
3. パソコンボランティア養成等業務	・パソコンボランティア養成講座 派遣事業	4/1-3/31 (随時)	宮城県域	3人	障害者 延べ550人程度	
4. IT支援関連事業	・収入獲得支援(キーボード製作) ・意思伝達装置等の機器販売	4/1-3/31 (随時)	SAN事務局	1人	障害者 延べ5人程度	3,150
4/1-3/31 (随時)	SAN事務局及び障害者宅	1人	ALS等患者 20人程度			
2. 福祉支援事業						
1. 自助・自立のための支援事業	事業構想協議					
2. 福祉支援関連事業	福祉名刺／卓上カレンダー販売	4/1-3/31 (随時)	SAN事務局	2人	市民延べ100人	180
3. 各種委託事業						

・業務委託	1. ホームヘルプ更新委託 2. 伝の心カヌマーセンター業務委託	4/1-3/31 (随時) 4/1-3/31 (通年)	SAN事務局 ハシフィックサブライ株式会社仙台営業所	3人 3人	障害者3人 障害者 延べ300人	60
4. 資格認証事業						
・重度障害者ICT支援コーディネータの資格認証	・新3級対応 ・申請への審査 ・資格認証	別途日程による	SAN事務局	3人	学生5人	2
5. 障害福祉サービス						
・就労継続支援B型	・生産活動の機会提供 ・就労に必要な知識や技能の訓練	4/1-3/31 (通年)	就労継続支援B型事業所内	4人	障害者 15人程度	2,186
6. その他						
・助成事業	助成金応募の検討・実施	4/1-3/31 (随時)	SAN事務局	3人		0

2023年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク

科目	金額(単位:円)		
I 収入の部			
1 会費収入			
個人正員会費収入	150,000		
団体正員会費収入	200,000		
個人賛助員会費収入	20,000		
団体賛助員会費収入	50,000		420,000
2 事業収入			
①IT支援事業収入			
・IT講習・サポート事業収入	41,115,990		
＜重度コミュニケーション支援事業＞		25,738,000	
＜みやぎ障害者ITサポートセンター＞		15,377,990	
・IT支援関連事業収入 I型	5,300,000		
＜支援機器導入支援＞		5,000,000	
＜収入獲得支援＞		300,000	
②福祉支援事業収入	200,000		
・自助・自立のための支援事業収入		0	
・福祉支援関連事業収入		200,000	
③各種委託事業収入	2,800,000		
・ホームページ更新委託 I型		300,000	
・伝の心カスタマーセンター業務委託 I型		2,500,000	
④資格認証事業収入	15,000		
⑤障害福祉サービス(就労継続支援B型)	14,964,560		
＜訓練等給付費収入＞		12,064,560	
＜就労支援事業費収入＞		2,900,000	64,395,550
3 助成金・補助金収入			
	0		0
4 寄附金収入			
	0		0
5 雜収入			
預金利子	500		500
6 その他			
	0		0
当期収入合計(A)			64,816,050
前期繰越収支差額			-2,596,906
収入合計(B)			62,219,144

科目	金額(単位:円)		
II 支出の部			
1 事業費			
①IT支援事業支出			
・IT講習・サポート事業支出	6,752,000		
＜重度コミュニケーション支援事業＞		3,652,000	
＜みやざ障害者ITサポートセンター＞		3,100,000	
・IT支援関連事業支出 I型	3,150,000		
＜支援機器導入支援＞		3,000,000	
＜収入獲得支援＞		150,000	
②福祉支援事業支出	180,000		
・自助・自立のための支援事業支出		0	
・福祉支援関連事業支出		180,000	
③各種委託事業支出	60,000		
・ICT事務委託		0	
・ホームページ更新委託 I型		50,000	
・伝の心カスタマーセンター業務委託 I型		10,000	
④資格認証事業支出	2,000		
⑤障害福祉サービス(就労継続支援B型)	2,185,600		12,329,600
2 管理費			
人件費	45,436,000		
…人件費:事務局		500,000	
…人件費:コミュ支援		22,086,000	
…人件費:サポセン		8,000,000	
…人件費:支援機器導入支援		550,000	
…人件費:カスタマーセンター I型		2,000,000	
…人件費:就労継続支援B型		12,300,000	45,436,000
事務局家賃	0		
通信費	280,000		
消耗品費	50,000		
備品費	20,000		
旅費・交通費	300,000		
印刷費	5,000		
理事会運営費	2,000		
総会運営費	2,000		
公租公課	3,000,000		
講習会等参加費	10,000		
交際費(慶弔費)	10,000		
宣伝・広告費	10,000		
支払手数料	10,000		3,699,000
3 雑損失			
	0		0
4 予備費			
	10,000		10,000
5 その他			
短期借入金	3,000,000		3,000,000
当期支出合計(C)			64,474,600
当期収支差額(A)-(C)			341,450
次期繰越収支差額(B)-(C)			△ 2,255,456

2023年度 就労継続支援B型事業 会計収支予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク

科目	金額(単位:円)		
I 収入の部			
1 訓練等給付費収入	12,064,560		
平均利用者数:8.5名/日			
利用日数:20日/月			
作業時間:4時間/日			
訓練等給付金:5,914円(1日当たり換算)			
			12,064,560
2 就労支援事業費収入			
①IT支援事業収入			
・IT支援関連事業収入 II型	300,000		
＜支援機器導入支援＞		0	
＜その他(印刷関連、データ入力等)＞		300,000	
②各種委託事業収入	600,000		
・ホームページ更新委託 II型		600,000	
・伝の心カスタマーセンター業務委託 II型		0	
③その他	2,000,000		
			2,900,000
当期収入合計(A)			14,964,560
前期繰越収支差額			-10,619,210
収入合計(B)			4,345,350
II 支出の部			
1 事業費			
①工賃 一人当たり10,000円/月	984,000		
・IT支援関連事業			
・各種委託事業			
・その他			
②就労支援事業費	50,000		
			1,034,000
2 管理費			
従業員給与	12,300,000		
支援員3人分		10,000,000	
支援員3人分 事業所負担保険料		1,500,000	
支援員1人分(週2日)		800,000	12,300,000
事業所賃貸料(光熱費込)	606,600		
通信費	100,000		
消耗品費	100,000		
交通費	30,000		
PCリース	10,000		
備品費	100,000		
保険料	170,000		
研修会等	30,000		
支払手数料	5,000		1,151,600
当期支出合計(C)			14,485,600
当期収支差額(A)-(C)			478,960
次期繰越収支差額(B)-(C)			-10,140,250